

平成28年度 福岡県立地企業振興会 北九州部会 実施報告

○日時 平成29年2月23日(木) 13時～18時50分

- 内容 1. 株式会社ブリヂストン北九州工場 見学
2. 官営八幡製鐵所世界遺産眺望スペース、北九州イノベーションギャラリー等 見学

○概要

【株式会社ブリヂストン北九州工場 見学】(13:30～15:30)

北九州市若松区響町に立地する、株式会社ブリヂストン北九州工場を訪問、見学しました。同工場は建設・鉱山車両用タイヤを専門に生産する同社国内2番目の生産拠点として、2009年6月に操業を開始した最新鋭の工場です。

はじめに、工場長の入江様から歓迎のご挨拶と同社の理念や工場の概要紹介があり、次いで担当職員の方から工場の概要と生産・出荷等について詳しい説明を受けました。

その後、稼働中の工場に入り、原材料の受入れから様々な工程を経て、外径が4mを超えるような超大型の建設・鉱山車両用タイヤが生産される様子を、説明を受けながら見学しました。

見学後の質疑で、同工場で生産する超大型の建設・鉱山車両用タイヤは世界シェアの5割を確保されているとの回答があり、「オンリーワン技術を持つものづくり企業の強さを実感した」、あるいは、「巨大な製品に、納入先の気候や路面などの使用条件に合わせた、きめ細かい配慮がなされていることに驚いた」、などの声があがっていました。



(株)ブリヂストンの理念や北九州工場の概要についての説明後、工場内を見学しました。

【官営八幡製鐵所世界遺産眺望スペース、北九州イノベーションギャラリー等 見学】

(15:50~17:00)

北九州市八幡東区東田の官営八幡製鐵所世界遺産眺望スペースと北九州イノベーションギャラリーを訪問し、世界遺産登録された官営八幡製鐵所の旧本事務所の外観や明治日本の産業革命遺産のパネル展などを見学しました。

官営八幡製鐵所旧本事務所(1899年竣工)は、平成27年7月に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の1つですが、操業中の製鐵所構内に立地していることから、その外観を同所OBのボランティアガイドの説明を受けながら眺望スペースから見学しました。

その後、約1km離れた北九州イノベーションギャラリーにバスで移動、道向かいにそびえる東田第一高炉跡の外観や多目的ホールの明治日本の産業革命遺産パネル展などを見学し、日本の近代製鉄発祥の地である北九州・八幡の歴史に触れました。



世界遺産眺望スペースから旧本事務所の外観見学 北九州イノベーションギャラリー館内の説明

【交流会：ステーションホテル小倉】(17:30~18:50)

工場・施設の見学後、当日ご参加された会員の皆様による交流会を開催しました。

交流会は、北九州部会の代表世話人を務めていただいている日産自動車九州株式会社代表取締役社長の荒井様のご挨拶で開会しました。次いで、世話人で新日鐵住金株式会社八幡製鐵所総務部開発企画室長の江口様のご発声で乾杯し、和やかに参加者相互の紹介や懇談が進みました。

管内市町の企業誘致担当職員や福岡県商工部企業立地課の高原課長なども交えて、活発な情報交換が行われました。



代表世話人荒井様の開会挨拶



交流会の様子 ステーションホテル小倉「豊饒」